

わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」 に関する文献リスト（2020）

Bibliography of the intensive group experience and group psychotherapy in Japan : 2020

野島 一彦

跡見学園女子大学
文学部臨床心理学科

Kazuhiro Nojima

Faculty of Psychology, Atomi University

坂中 正義

南山大学
人文学部心理人間学科

Masayoshi Sakanaka

Faculty of Humanities, Nanzan University

I. はじめに

本文献リスト・シリーズでは、1989年までは「集中的グループ経験」「集団精神療法」のリストは別々に作成されているが、1990年からは2つのジャンルは一緒に収録されている。以下にこれまでのリストを示す。

●「集中的グループ経験」に関する文献リスト（～1989）

- (1) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（～1969）一付：グループ関係者（団体）名簿〔1982年12月現在〕福岡大学人文論叢，14(4)，1457-1479.
- (2) 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（1970～1980）九州大学教育学部心理教育相談室紀要，6，69-93.
- (3) 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（1981）一付：同リスト〔1970～1980〕の追録九州大学心理臨床研究，1，87-95.
- (4) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト

（1982）一付：同リスト〔1970～1981〕の追録九州大学心理臨床研究，2，107-115.

- (5) 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（1983）一付：同リスト〔～1982〕の追録およびグループ関係者（団体）名簿〔1983年12月現在〕福岡大学人文論叢，15(4)，1479-1515.
- (6) 野島一彦 1985 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（1984）一付：同リスト〔～1983〕の追録およびグループ関係者（団体）名簿〔1984年12月現在〕福岡大学人文論叢，16(4)，1527-1563.
- (7) 野島一彦 1986 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（1985）一付：同リスト〔～1984〕の追録福岡大学人文論叢，17(4)，775-790.
- (8) 野島一彦 1987 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト（1986）一付：同リスト〔～1985〕の追録福岡大学人文論叢，18(4)，901-914.

- (9) 野島一彦 1988 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1987) —付:同リスト〔～1986〕の追録 福岡大学人文論叢, 19(4), 981-994.
- (10) 野島一彦 1989 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1988) —付:同リスト〔～1987〕の追録 福岡大学人文論叢, 20(4), 1391-1411.
- (11) 野島一彦1990 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1989) —付:同リスト〔～1988〕の追録 福岡大学人文論叢, 21(4), 1669-1687.
- 「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅠ:単行本, 研究論文 福岡大学人文論叢, 23(2), 501-533.
- (2) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅡ:学会発表, 翻訳, 書評, 海外文献紹介 福岡大学人文論叢, 23(3), 801-832
- 「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990～)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990) 福岡大学人文論叢, 22(4), 1115-1147.
- (2) 野島一彦 1992 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1991) 福岡大学人文論叢, 23(4), 1087-1124.
- (3) 野島一彦 1993 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1992) 福岡大学人文論叢, 24(4), 1343-1382.
- (4) 野島一彦 1994 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1993) 福岡大学人文論叢, 25(4), 1805-1834.
- (5) 野島一彦 1995 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1994) 福岡大学人文論叢, 26(4), 1809-1834.
- (6) 野島一彦 1996 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1995) 福岡大学人文論叢, 27(4), 2049-2074.
- (7) 野島一彦・坂中正義 1997 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1996) 九州大学心理臨床研究, 16, 81-99.
- (8) 野島一彦・坂中正義 1998 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1997) 九州大学心理臨床研究, 17, 99-112.
- (9) 野島一彦・坂中正義 1999 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1998) 九州大学心理臨床研究, 18, 135-150.
- (10) 野島一彦・坂中正義 2000 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1999) 九州大学心理臨床研究, 19, 103-120.
- (11) 野島一彦・坂中正義 2001 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(2000) 九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.

- 神療法」に関する文献リスト (2000)
九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.
- (12) 野島一彦・坂中正義 2002 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2001)
九州大学心理臨床研究, 21, 151-168.
- (13) 野島一彦・坂中正義 2003 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2002)
九州大学心理臨床研究, 22, 207-223.
- (14) 野島一彦・坂中正義 2004 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2003)
九州大学心理臨床研究, 23, 131-143.
- (15) 野島一彦・坂中正義 2005 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2004)
九州大学心理臨床研究, 24, 117-128.
- (16) 野島一彦・坂中正義 2006 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2005)
九州大学心理臨床研究, 25, 137-153.
- (17) 野島一彦・坂中正義 2007 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2006)
九州大学心理臨床研究, 26, 251-268.
- (18) 野島一彦・坂中正義 2008 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2007)
九州大学心理臨床研究, 27, 137-152.
- (19) 野島一彦・坂中正義 2009 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2008)
九州大学心理臨床研究, 28, 165-179.
- (20) 野島一彦・坂中正義 2010 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2009)
九州大学総合臨床心理研究, 2, 101-121.
- (21) 野島一彦・坂中正義 2011 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2010)
九州大学総合臨床心理研究, 3, 185-198.
- (22) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2011)
九州大学総合臨床心理研究, 4, 143-162.
- (23) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2012)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 9, 3-18.
- (24) 野島一彦・坂中正義 2014 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2013)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 10, 3-25.
- (25) 野島一彦・坂中正義 2015 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2014)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 11, 5-23.
- (26) 野島一彦・坂中正義 2016 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2015)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 12, 3-23.
- (27) 野島一彦・坂中正義 2017 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2016)

跡見学園女子大学附属心理教育相談所
紀要, 13, 3-24.

- (28) 野島一彦・坂中正義 2018 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2017) 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 14, 9-27.
- (29) 野島一彦・坂中正義 2019 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2018) 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 15, 9-22.
- (30) 野島一彦・坂中正義 2020 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2019) 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 16, 3-29.

今回のリストは、「集中的グループ経験」と「集団精神療法」の2020年(1月～12月)の文献を収録している。また、これまでのリストにもれたものを追録という形で収録している。

第I部：「集中的グループ経験」

「集中的グループ経験」には、感受性訓練(ST), Tグループ, ラボトリー・トレーニング, グループ・カウンセリング, 健康増進セミナー, 自己発見のための合宿セミナー, 自己との出会いのためのグループ合宿, エンカウンター・グループ, グループ・アプローチ, Lグループ, IPR, CST, 行動集団カウンセリング, ゲシュタルト療法, 交流分析等が含まれる。主に<成長>, <訓練>を目的とするグループ

である。

2020年の概況は次のようである。単行本は, 3冊発行された。研究論文は, 27本で前年より増加した。学会発表(口頭発表)は, 日本心理臨床学会で17本, 日本人間性心理学会で5本, 日本集団精神療法学会で5本と前年より減少した。翻訳(単行本)は, 発行されなかった。

A. 単行本

1. 村山正治 2020 学校におけるPCAグループの実践と展開 スクールカウンセリングの新しいパラダイム—パーソンセンタード・アプローチ, PCAGIP, オープンダイアローグ 58-68.
2. 村山正治 2020 グループワークとしての新しい事例検討: PCAGIP法入門 スクールカウンセリングの新しいパラダイム—パーソンセンタード・アプローチ, PCAGIP, オープンダイアローグ 69-84.
3. 村山正治 2020 いじめの予防: ポジティブフィードバックの意義—PCAグループからのアプローチ スクールカウンセリングの新しいパラダイム—パーソンセンタード・アプローチ, PCAGIP, オープンダイアローグ 92-102.
4. 人間関係研究会監修 2020 エンカウンター・グループの新展開—自己理解を深め他者をつながるパーソンセンタード・アプローチ, I II, 学びの書 考え方と実践 木立の文庫
5. 人間関係研究会監修 2020 エンカウンター・グループの新展開—自己理解を深め他者をつながるパーソンセンタード・アプローチ, III IV, 出会いの書 対

B. 研究論文

1. 板東充彦・尹 成秀他 2020 心理臨床家が行うサポート・グループの特徴と運営者の機能 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要2019年度, (16), 31-47.
2. 古谷 浩 2020 入院病棟で行うピアサポート・グループの創設とその及ぼす影響—精巣腫瘍ピアサポート・グループ参加者への質的研究— 東亜臨床心理学研究, 19, 144-145.
3. 廣瀬真由美 2020 看護基礎教育における継続的PCAグループの適用と効果の検討—社会人基礎力の育成と評価— 東亜臨床心理学研究, 19, 148-149.
4. 池田豊應 2020 [特集2] 人間性心理学とグループ：集団による社会性の生成—「ヨコ体験グループ」の実践— 人間性心理学研究, 38(1), 79-88.
5. 伊東留美 2020 創造的表現を用いた内省的実践についての一考察—アートベースによる考察の試み— 人間関係研究, 19, 71-87.
6. 北田朋子 2020 施設入居高齢者へのひとりひとりを尊重するオープングループの試み 人間性心理学研究, 37(2), 157-167.
7. 楠本和彦 2020 多様な「半構成的なグループ・アプローチ」が学習者の学びを促進するために—講習体験をベースにした検討— 人間関係研究, 19, 35-54.
8. 楠本和彦・土屋耕治 2020 南山大学人文学部心理人間学科科目「体験学習実践トレーニング」におけるオリジナル学習の作成と実施についての検討：実習「うた えらび」 人間関係研究, 19, 89-109.
9. 楠本和彦 2020 [特集2] 人間性心理学とグループ：Tグループを中心としたラボラトリー方式の体験学習 人間性心理学研究, 38(1), 71-78.
10. 三國牧子 2020 [特集2] 人間性心理学とグループ：グループと人間性心理学 人間性心理学研究, 38(1), 65-69.
11. 森泉 哲 2020 特集「NTLと体験学習/組織開発」 NTL, 組織開発とダイバーシティ 人間関係研究, 19, 11-21.
12. 森岡正芳 2020 [特集1] 第13回学会賞シンポジウム「未来を紡ぐ人間関係研究会の歩み」：他者と出会うこと—エンカウンター・グループの持続する時間— 人間性心理学研究, 38(1), 23-28.
13. 師岡美里・大橋佳奈他 2020 臨床心理初学者による自己生成プロセスワーク体験の報告と考察 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要2019年度, (16), 71-84.
14. 本山智敬 2020 [特集1] 第13回学会賞シンポジウム「未来を紡ぐ人間関係研究会の歩み」：エンカウンター・グループの今後の展開に向けて 人間性心理学研究, 38(1), 15-22.
15. 中島俊思・大西将史他 2020 NICU入院経験のある低出生体重児の親向け集団精神療法プログラムの開発 心理臨床学研究, 38(1), 27-38.
16. 中村和彦 2020 巻頭言：体験学習の過去からの伝統と未来に向けた変化 人間関係研究, 19.
17. 中村和彦・津村俊充 2020 特集

- 「NTLと体験学習/組織開発」 NTL Festival in Japanに寄せられたNTLメンバーからのメッセージ—NTL Instituteのこれまで、現在、これから— 人間関係研究, 19, 1-10.
18. 中尾陽子 2020 ラボラトリー方式の体験学習における『ねらい』について 人間関係研究, 19, 55-70.
 19. 岡 千鶴 2020 居住地域高齢者を対象にした地域の実情に応じたグループ回想的試み 東亜臨床心理学研究, 19, 136-137.
 20. 大谷桃子 2020 青年期女性における生きづらさを話し合う会の実践と検討 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要2019年度, (16), 85-99.
 21. 坂中正義 2020 日本におけるパーソンセンタード・アプローチに関する文献リスト (2019) 人間関係研究, 19, 123-149.
 22. 杉浦崇仁・村上恵子他 2020 「PCAグループ」及び「PCAGIP法」に関する文献リスト 東亜臨床心理学研究, 19, 123-132.
 23. 高松 里 2020 [特集1] 第13回学会賞シンポジウム「未来を紡ぐ人間関係研究会の歩み」：時代の変化とエンカウンター・グループ, そして変わらぬもの—人間関係研究会第二世代として— 人間性心理学研究, 38(1), 7-13.
 24. 土屋耕治 2020 特集「NTLと体験学習/組織開発」 体験学習を通じた民主主義再学習の思想的背景—民主主義・科学・プラグマティズム— 人間関係研究, 19, 22-33.
 25. 山郷志乃美 2020 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察—体験内容と体験様式に着目して— 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要2019年度, (16), 217-229.
 26. 吉田由美・重松初代香他 2020 看護学生の入学初期に実施した1泊2日のPCAGの効果測定と今後の課題—過去3年文のデータをもとに— 東亜臨床心理学研究, 19, 43-47.
- C. 学会発表
1. 合原弥邑・榊原有紀他 2020 発達支援における「親の会」活動の試み〜思春期女兒の母親のグループプロセス〜 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 162.
 2. 新井 雅・松丸未来他 2020 子どものトラウマやストレスイベントからの予防・回復を促進する集団認知行動療法プログラムの効果と普及に関する研究 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 171.
 3. 針塚緑樹・合原弥邑他 2020 発達支援における「親の会」活動の試み〜多様なプログラムの試みと保護者の反応〜 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 161.
 4. 堀田 亮・佐々木恵理 2020 大学における多職種連携による心理教育プログラムの実践—ライフスキルの観点からプログラム評価— 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 179.
 5. 藤澤美穂・針生江美他 2020 大会企画ワークショップ：東日本大震災等の相互支援グループ 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 50.

6. 梶本浩史・野村 学他 2020 学校教育領域に芽吹くグループメソッド— ~group for all~多職種協働の時代— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 46.
7. 金子周平・古賀なな子 2020 ファシリテーター訓練におけるメンバー体験と体系的訓練の効果の比較 日本人間性心理学会第39回大会大会プログラム, 64.
8. 菊地寿奈美・巽岩秀章他 2020 大会企画ワークショップ: 学校における治療共同体的視点—教育共同体を巡って— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 52.
9. 倉成宜佳・周布恭子他 2020 一般改善指導 (対人関係サポートプログラム) におけるグループ作用に関する考察 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 353.
10. 松井幸太 2020 自然体験活動を通じたエンカウンターグループにおける成長と課題—参加者の体験過程と中途離脱者の体験過程に着目して— 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 85.
11. 松本麻希・池田久剛他 2020 県外からの避難者に対するグループ支援活動のプロセス (第7報) —東日本大震災から9年が経過して— 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 167.
12. 水野高昌 2020 就労支援施設におけるコミュニティ・ミーティング—細々と続けるグループ, その存在の意味と今後の課題を考える— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 41.
13. 森吉里奈・山喜義枝他 2020 発達障害児思春期グループの現状と課題 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 39.
14. 新村信貴 2020 家族エンカウンター・グループの機能と経年参加者のニーズに関する一考察—自然な対話と成長への気付き— 日本人間性心理学会第39回大会大会プログラム, 49.
15. 野島一彦 2020 エンカウンター・グループのファシリテーター養成—「コ・ファシリテーター方式プログラム」— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 30.
16. 能祖美幸・嶺 哲也他 2020 学生相談室におけるコミュニケーション・プログラムの実践 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 148.
17. 鬼塚淳子・山川京子 2020 支持的サポートグループによる要配慮学生への就労支援の試みに関する一考察 日本人間性心理学会第39回大会大会プログラム, 67.
18. 大竹直子・諸富祥彦 2020 教師対象のサポートグループ「教師を支える会」における教師の変容過程とサポートグループが果たした機能 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 154.
19. 大谷桃子 2020 青年期女性における生きづらさを話し合う会の実践と検討 日本人間性心理学会第39回大会大会プログラム, 54.
20. 佐々木裕子 2020 臨床訓練導入教育として実践されたグループ体験プログラムの検討—体験過程尊重尺度による効果比較— 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 384.
21. 首藤和佳子・小池有紀他 2020 エン

- カウンター・グループの事前準備における幹事の役割に関する一考察 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 287.
22. 末永好葉・木村佐宜子 2020 多職種が関わる親子遊び教室からみえてきたもの 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 159.
23. 田中 彩 2020 小学生へのソーシャルスキル・トレーニングによるコミュニケーション能力の育成—学級担任・養護教諭・スクールカウンセラーの協働による, 学級のニーズに沿った授業の実践より— 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 107.
24. 田中真理・滝吉美知香 2020 少年鑑別所における意図的行動観察としての心理劇的ロールプレイング 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 128.
25. 植原美智子・魏 孝棟 2020 集団歌唱療法による児童養護施設入所児童の自己感の成長—集団歌唱療法における情動調律を通して— 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 335.
26. 山郷志乃美 2020 エンカウンター・グループにおける自己変容に寄与した体験の検討—体験記録を分析して— 日本人間性心理学会第39回大会大会プログラム, 53.
27. 山口 豊 2020 大学生を対象とした良好な人間関係構築のための授業効果 日本心理臨床学会第39回大会発表論文集, 304.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

付：「集中的グループ経験」に関する文献リスト〔～2019〕の追録

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 安達知郎・安達奈緒子 2019 大学新入生に対するアサーション・トレーニングの効果—適応感とアイデンティティ, 自己受容に注目して 教育心理学研究, 67(4), 317-329.
2. 伊藤義美 2019 フォーカシング指向グループアプローチ (FOGA) を用いた保護者への心理教育プログラム 『人間と環境』, 10.

C. 学会発表

〔該当文献なし〕

D. 翻訳

1. アラン・グッゲンビュール著 桑原和子監修 アランプロジェクト訳 2019 グループワーク〈ミソドラマ〉で子どもの心の声を聴く 創元社.

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

第Ⅱ部：「集団精神療法」

「集団精神療法」には、集団心理療法、グループ・セラピー、心理劇（サイコドラマ）、活動集団療法、集団遊戯療法、集団分析、グループワーク、治療キャンプ、集団絵画療法、音楽療法、生活技能訓練（SST）、デイケア、治療共同体、ソーシャル・クラブ、セルフ・ヘルプ・グループ、ダンス療法、グループ運動表現療法、レクリエーション療法等が含まれる。主に「治療」を目的とするグループである。

2020年の概況は次のようである。単行本は、発行されなかった。研究論文は、60本で前年より減少した。学会発表（口頭発表）は、日本集団精神療法学会で37本、日本人間性心理学会で1本と前年より減少した。翻訳（単行本）は、発行されなかった。

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 阿部正信 2020 研究会だより：子どものグループ研究会 集団精神療法, 36(1), 142-143.
2. Anando Chatterji・Rex Haigh著 古賀恵里子訳 2020 大会企画ワークショップ：関係性の世界を促進すること—イネイプリング・エンバイロメント ワークショップ— 集団精神療法, 36(2), 220-228.
3. Bob Hinshelwood著 北原祐理・岡元宗平訳 2020 シンポジウム：考え続ける空間としての治療共同体—精神医学・再考— 集団精神療法, 36(2), 202-207.
4. 伊達真理子・藤江朋美他 2020 家族支援プログラム活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 78-81.
5. 長谷川麻弓 2020 リワークデイケアでの集団精神療法的プログラムの試み—心理教育プログラムを立ち上げたんだけど— 集団精神療法的, 36(1), 64-71.
6. 橋本和典 2020 グループサイコセラピーと「問う力・聴く力」 臨床心理学, 20(4), 407-418.
7. 林 公輔 2020 学会印象記：The XXI Congress of the International Association for Analytical Psychology—故きを温ねて新しきを知る— 集団精神療法, 36(1), 140-141.
8. 林 尚宏・中村慎他 2020 原著論文：ソーシャルスキル・トレーニングのグループが持つ直面させる機能と支持する機能の活用—苦手分野に取り組む自閉スペクトラム症児の援助のために— 集団精神療法, 36(2), 261-270.
9. 本田 円・城後弓子他 2020 アルコールグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 51-55.
10. 星野 大・金井希斗他 2020 接触障害患者に対する集団精神療法の試み—私たちの工夫と“失敗”をめぐって— 集団精神療法, 36(1), 57-63.
11. 池田由美子・大川稚衣他 2020 周産

- 期メンタルヘルスグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 112-115.
12. 勇 博幸・高田瑞穂他 2020 のみもの依存症グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 82-84.
 13. 石川与志也・荻本 快 2020 原著論文：過敏型ナルシズムの力動を有する青年の集団精神療法における展開力動—三角介入による自己内省機能の作動— 集団精神療法, 36(2), 271-282.
 14. 梶本浩史 2020 特集：学校教育の未来 特集にあたって 集団精神療法, 36(1), 7-9.
 15. 梶本浩史 2020 特集 学校教育の未来 あとがき 集団精神療法, 36(1), 38-39.
 16. 鎌田明日香 2020 学校に集団精神療法的な視点と方法を導入するための基礎—スクールカウンセラーによるアセスメントと介入技法の実際— 集団精神療法, 36(1), 10-16.
 17. 加藤祐介丞 2020 「間をもてない」依存症者—集団療法で生じた沈黙への反応について— 集団精神療法, 36(1), 105-114.
 18. 加藤祐介 2020 学会印象記：日本精神分析学会第65回大会—いずれ交わるときがくる— 集団精神療法, 36(1), 136-137.
 19. 川合裕子・堀川公平他 2020 大会企画ワークショップ：精神科医療と共同体治療的な環境をどのように整えるか—日常を治療的に扱うために— 集団精神療法, 36(2), 229-233.
 20. 菊池寿奈美 2020 グループプロセスの中にある“本当の気持ち” 集団精神療法, 36(1), 43-49.
 21. 菊地寿奈美・巖岩秀章 2020 大会企画ワークショップ：学校における治療共同体的視点—教育共同体を巡って— 集団精神療法, 36(2), 234-238.
 22. 木村能成・那須里絵他 2020 子供のグループセラピーにおけるメンタライジングアプローチの意義—アタッチメントに課題を持つ子供の成長に向けて— 集団精神療法, 36(1), 95-104.
 23. 岸 信介 2020 企画運営委員会：企画運営委員会はコミュニティ・ミーティングとリフレクション・グループをどのように構想していたか 集団精神療法, 36(2), 252-255.
 24. 岸 信之・亀岡智美他 2020 大会企画ワークショップ：児童心理治療施設と治療共同体—総合環境法の視点から— 集団精神療法, 36(2), 239-246.
 25. 古賀恵里子 2020 大会長講演：「治療共同体・再訪」 集団精神療法, 36(2), 180-192.
 26. 古賀禎也・馬郡芳弥他 2020 ギャンブルグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 97-100.
 27. 黒江美穂子 2020 学会印象記：2019第32回日本思春期青年期精神医学会 集団精神療法, 36(1), 134-135.
 28. 宮城崇史・川合裕子 2020 緊急ミーティング：企画運営委員会は新型コロナウイルス感染症に伴う脅威にどう向き合ったか—「緊急ミーティング」の体験を

- 中心に— 集団精神療法, 36(2), 256-260.
29. 宮城崇史・毛利真弓他 2020 大会企画ワークショップ：アディクション/司法領域における治療共同体 集団精神療法, 36(2), 247-251.
30. 水野高昌 2020 学会印象記：第53回日本作業療法学会 集団精神療法, 36(1), 132-133.
31. 水野高昌 2020 学会印象記：日本精神障害者リハビリテーション学会 集団精神療法, 36(2), 297-298.
32. 森 智秀・藤田照海他 2020 ゲーム・ネット依存グループ 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 104-109.
33. 中島幸良・越智貴紀他 2020 クロザリルグループ 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 110-111.
34. 中村 修・山口まどか他 2020 アルコールグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえの丘病院 2019年度臨床活動報告論文集, 25-27.
35. 中野文子・山下由美他 2020 ソーシャライジングクラブ 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 101-103.
36. 中里容子 2020 依存症治療プログラムから考える, 「感情を扱う」ということ 集団精神療法, 36(1), 50-56.
37. 西村 馨 2020 学校教育相談の周辺資源としてのセラピーグループ—「心を理解する」連携・協働に向けて— 集団精神療法, 36(1), 31-37.
38. 大橋良枝 2020 グループでの積木セラピー—心的外傷への対処法としての可能性— 集団精神療法, 36(1), 115-120.
39. 太田裕一 2020 学会印象記：日本学生相談学会第38回大会 集団精神療法, 36(2), 295-296.
40. 大妻女子大学学生相談センター 2020 平成30年度グループ活動報告 大妻女子大学学生相談センター年報, 36-39.
41. Rax Haigh著 揖斐衣海・荻本 快 2020 特別講演：イギリスにおける治療共同体—伝統的モデルの修正と新機軸— 集団精神療法, 36(2), 193-201.
42. 才田康成・栗野麻美 2020 生活習慣改善グループ 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 85-88.
43. 関 百合 2020 特集 テキストワークを豊かにするグループの視点 特集にあたって「集団精神療法の知」の生かし方 集団精神療法, 36(1), 41-42.
44. 関 百合 2020 巻頭言：集団精神療法の知を問う 集団精神療法, 36(2), 177-178.
45. 重松順子・中尾春奈他 2020 うつ病の集団精神療法 (Dグループ) 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 74-77.
46. 重田理佐 2020 学会印象記：第23回日本摂食障害学会—摂食障害という「魔物」とどうつきあうか— 集団精神療法, 36(1), 138-139.
47. 庄司真理・松尾真規子 2020 スクー

- ルカウンセラーによるチーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メゾット 集団精神療法, 36(1), 24-30.
48. 菅 武史・菊池寿奈美 2020 学校緊急支援におけるグループの視点 集団精神療法, 36(1), 17-23.
49. 鈴木純一 2020 シンポジウム：英国と日本の治療共同体の体験から学んだこと 集団精神療法, 36(2), 208-216.
50. 高橋裕子・永見もも子他 2020 市民公開フォーラム：おしゃべりからつながる一地域のコミュニティに参加しようー 集団精神療法, 36(2), 217-219.
51. 竹井 剛 2020 「このままでいい自分をめざすグループ」が備える2つの変容プロセス 神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター紀要, (13), 27-36.
52. 徳丸 享 2020 巻頭言：グループの魅力伝えるには… 集団精神療法, 36(1), 5-6.
53. 徳永浩子・高須博子他 2020 ACグループ 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 56-59.
54. 上田玲実・山口まどか他 2020 摂食障害グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 64-67.
55. 後田純子・甲斐千穂他 2020 薬物依存症グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 60-63.
56. 渡部京太 2020 自閉症スペクトラム症児の親心理教育プログラムにおいてどのように集団精神療法の技法を生かすのか？ 集団精神療法, 36(1), 72-80.
57. 山口まどか・大川稚衣他 2020 ウィメンズグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 68-73.
58. 山口豊一・三村 遥他 2020 人間関係の活性化を目的とした構成的グループ・エンカウンター (SGE) の効果研究 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要2019年度, (16), 57-69.
59. 矢野夕紀・河原久人他 2020 措置ミーティング 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 94-96.
60. 吉川紗加・伊東 渚他 2020 学習グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 のぞえ総合心療病院 2019年度臨床活動報告論文集, 89-93.

C. 学会発表

1. 青戸由理子・大森真澄 2020 事例検討：グループの外で起きたメンバー間の葛藤をグループ内で扱おうとしたことの意味ーコンダクターの体験を振り返るー 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 58.
2. 浅田 護 2020 病棟のトラウマとコミュニティ・ミーティングー長期入院の慢性統合失調症者を通じて現れたマザーグループによる救いー 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 29.
3. 針生江美 2020 精神科急性期治療病棟で看護師がコミュニティ・ミーティングをおこなうということーグループの再開, 継続に至るプロセスで, 何がおこっていたのかー 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 34.

4. 藤堂信枝・高林健示 2020 戦争体験のシェアリングに向けた試み 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 44.
5. 藤巻加奈子 2020 スタッフグループの活性化に向けて 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 33.
6. ジェイムス朋子・犬塚貴浩 2020 性犯罪者を対象とするプレ集団療法のプロセスの検討—夢の語りに見られた自由連想的発話空間の意味— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 32.
7. 神宮京子・荒川香代子 2020 自主ワークショップ：オーセンティック・ムーブメント—人は、どこにいてもからだと共にいる— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 62.
8. 鴨澤あかね・大島寿美子他 2020 自主ワークショップ：“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 64.
9. 木村能成・那須里絵他 2020 「愛着の課題」を抱えた子どもに対するグループアプローチ—活動集団療法での実践を通して— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 36.
10. 岸 信之・亀岡智美他 2020 大会企画ワークショップ：児童心理治療施設と治療共同体—総合環境療法の視点から— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 53.
11. 古賀恵里子 2020 大会長講演：治療共同体・再訪 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 24.
12. 古賀恵里子 2020 シンポジウム：考え続けるコミュニティーシンポジウムに向けて— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 65.
13. 久保浩明・加藤隆弘 2020 社会的ひきこもりの精神分析的集団療法—グループからの卒業をめぐって— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 38.
14. 川合裕子・樋掛忠彦他 2020 大会企画ワークショップ：精神科医療と治療共同体 治療的な環境をどのように整えるか—日常を治療的に扱うために— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 51.
15. 宮城崇史・毛利真弓他 2020 大会企画ワークショップ：アディクション/司法領域における治療共同体—スタッフと当事者が学びあうコミュニティー— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 54.
16. 水上真理子・鎌田明日香 2020 身体は語る—グループにおけるノンバーバルコミュニケーションを身体心理学の観点から体験する— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 47.
17. 森 智秀・坂口信貴他 2020 ゲーム・ネット依存症の集団精神療法—長年グループを支えたメンバーの死と、治療中断・再開からみえる依存症の課題— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 43.
18. 永見もも子・磯崎聖子他 2020 市民公開フォーラム：おしゃべりからつながる—地域のコミュニティーに参加しよう— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 56.
19. 那須里絵・西村 馨 2020 愛着トラ

- ウマを抱える子どものグループセラピー
日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 37.
20. 西田 篤 2020 施設治療における「ある揉め事」への介入への意味 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 40.
21. 野島一彦・権 成鉉他 2020 自主ワークショップ：組織集団の中での小グループの意味と維持—治療共同体を支えるもの（精神科慢性疾患の力動的集団精神治療の会）日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 61.
22. 岡島美朗・桜庭拓郎 2020 基礎講座 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 55.
23. 大河内範子 2020 全身性エリテマトーデス（SLE）患者を対象とした集団精神療法—海外における研究動向の概観 日本人間性心理学会第39回大会大会プログラム, 46.
24. 落合尚美・石附牧子 2020 スーパーヴィジョンを臨床に生かす—3つのグループの検討を通して— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 31.
25. R.D.Hinshelwood 2020 シンポジウム：考え続ける空間としての治療共同体 The Therapeutic Community as a Reflective Space 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 66.
26. Rex Haigh 2020 特別講演：イギリスにおける治療共同体—伝統的モデルの修正と新機軸— Therapeutic Communities in the UK: innovation and modification of the traditional model 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 25.
27. Rex Haighと仲間たち 2020 大会企画ワークショップ：イネイブリング・エンバイロメントのためのコア・バリエーション, そして治療共同体のためのコア・スタンダード 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 26.
28. 関 百合 2020 体験グループ—グループアナリシスの考え方に基づく— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 57.
29. 鈴木純一 2020 シンポジウム：英国と日本の治療共同体の体験から学んだ事 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 67.
30. 只隅康弘・石田恵子他 2020 ワークブックを使ったアルコールグループの立ち上げ—内科に併設された精神科外来のグループが与えた影響とは— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 42.
31. 田井 健・矢花孝文 2020 病棟というグループを休止しての気づき—治療共同体の運営を模索した精神科病棟が休止して— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 27.
32. 高橋 馨・野中稔他 2020 自主ワークショップ：こうえん—出入り自由の体験グループsince 2008— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 60.
33. 高橋美紀・藤巻加奈子 2020 自主ワークショップ：サイコドラマ体験ワークショップ—アクション・メソッドのグループ・プロセスを体験する— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 59.

34. 高 祥也・志田沙恵子 2020 ある児童心理治療施設における話し合いの方式 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 39.
35. 高富 栄・福澤宏之他 2020 救急病棟におけるグループの実際と意義—地域生活支援をみこした急性期治療の展開— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 45.
36. 田代 順・望月洋 2020 自主ワークショップ：ナラティヴなグループアプローチを体験する（その10）—「解決志向リフレクティング」による体験グループの試み— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 63.
37. 矢花孝文・田井 健 2020 病棟休止と「地域における治療共同体」—地域で治療共同体を育てていくために— 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 28.
38. 吉川真衣・川茂聖哉他 2020 精神科急性期治療を行う大学病院でのグループ実践 日本集団精神療法学会第37回学術大会抄録集, 35.

D. 翻訳

1. R.D.Hinshelwood 柴田応介訳 2020 アクションから学ぶLearning from Action (LfA) —メンタル・ヘルス・ワーカーのためのワークショップ— 集団精神療法, 36(1), 81-94.

E. 書評

1. 林 公輔 2020 エヴァ・パティス・ゾーヤ著/河合俊雄監訳, 小木曾由佳訳『危機介入への箱庭療法—極限状況の子

どもたちへのアウトリーチ—』(創元社) 集団精神療法, 36(2), 299-300.

2. 高橋美紀 2020 齋藤英二監修『心の病気がきちんとわかる本 症状・対処法・受診』(西東社) 集団精神療法, 36(1), 144-145.
3. 田中徹哉 2020 大橋良枝著『愛着障害児とのつきあい方—特別支援学校教員チームとの実践—』(金剛出版) 集団精神療法, 36(2), 301-302.

F. 海外文献紹介

1. Chris Van Weel 1980 General Practitioner Ommoord Health Center, Rotterdam, Netherlands Journal of the Royal College of General Practitioners, November 30, 665-670. (片岡圭美 2020 グループベースのケア：問題行動を変えられるか?) 集団精神療法, 36(1), 127-131.
2. Corbett, A. In Woods, J. and Williams, A. (Eds.) 2014 The invisible men : Forensic group therapy for people with intellectual disabilities. Forensic Group Psychotherapy : The Portman Clinic Approach, London : Karnac, 184-201. (嶋田博之 2020 透明人間たち：知的能力障害のある人たちへの司法集団精神療法。) 集団精神療法, 36(1), 121-126.
3. Elisabeth Rohr 2013 From Conflict Recognition : Cultural Transformation through Group Supervision in Guatemala. Group Analysis, 46(3), 273-283. (柴田応介・鈴木理恵ら 2020 葛藤から認識へ：グアテマラにおけるグループ・スーパーヴィジョンを通じての文化

変容.) 集団精神療法, 36(2), 283-289.

4. Scheiby, B. 1999 Music as a symbolic expression : Analytical music therapy. In Wiener, D. J. Beyond Talk Therapy : Using Movement and Expressive Techniques in Clinical Practice. American Psychological Association. (長江朱夏 2020 象徴の表現としての音楽 : 分析的音楽療法.) 集団精神療法, 36(2), 290-294.

付 : 「集団精神療法」に関する文献リスト
〔～2019〕の追録

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

〔該当文献なし〕

C. 学会発表

〔該当文献なし〕

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

〔お願い〕

リストに収録した文献の記述上の誤りを見つけれられた方, もれている文献を御存知の方は, 筆者まで御連絡願えれば幸いです。

連絡先 〒352-8501

埼玉県新座市中野1-9-6

跡見学園女子大学心理学部

野島一彦

TEL 048-478-4252

FAX 048-478-3475

E-mail nojima@atomi.ac.jp

URL <http://nojimakazuhiko.jimdo.com/>